

東日本大震災追悼式（於：スピタク市）

3月11日、東日本大震災から14年、青木豊駐アルメニア日本国大使は、1988年のアルメニア大地震の震源地であるスピタク市で行われた東日本大震災犠牲者追悼式典に出席しました。式典は、2012年に地元のボランティアにより設置された、東日本大震災慰霊碑「ハチュカル」の前で行われました。

式典には、青木大使のほか、ツツリャン・アルメニア共和国内務省次官兼救助局長、アスリャン・ロリ州副知事をはじめとするアルメニア政府関係者、救助隊員、地元住民が出席しました。参加者は、東日本大震災とアルメニア大地震の犠牲者を追悼するため、ハチュカルに献花を行いました。

式典では、セロブ・ガブリエリャンロリ州救助隊長に外務大臣表彰が授与されました。同氏は、JICAプログラムを通じて日本の被災地を訪問した後、スピタク住民の寄付と自身の私財を投じ、東日本大震災の犠牲者のための慰霊碑の建立に尽力しました。ガブリエリャン氏はその活動を通じて、日本とアルメニアの相互理解を促進したとして表彰されました。



青木大使による犠牲者追悼



東日本大震災慰霊碑



青木大使挨拶



外務大臣表彰：
ガブリエリャン・ロリ州救助隊長
セロブ・ガブリエリャン氏